豊栄についてアンケート
住みよいが79.3%
700人を対象に調査

新潟地域広域市町村圏協議会（十七か市町村）では、新しい地域社会づくりの参考にするため、圏内の住民を対象に、要望などについてアンケート調査を実施しました。

この調査は、二十項目について行われましたが、その中豊栄市の調査について、興味深い項目をひろってみました。

●「生活環境で特に困っていたり必要と思うもの」

この調査は、五十項目をあげ、困っているもの等を幾つでもあげてもらいました。調査の結果は、多いものから十位まで次のとおりでした。

(1)休日、夜間診療＝一七〇人 (2)河川や排水路の整備＝一五五人 (3)通勤・買物などに利用するバスの便や路線＝一四八人 (4)総合体育館＝一三三人 (5)河川のよごれ＝一一四人 (6)魅力ある商店街＝一一三人 (7)総合運動場＝一〇九人 (8)下水道＝一〇八人 (9)公園・緑地＝一〇七人 (10)街灯＝一〇〇人

一番多かった「休日、夜間診療」をあげた人は、男女とも小さい子供を持つ二十歳代、三十歳代が多く、順次五十歳代まで減少する傾向にありますが、六十歳以上でまた増加しました。

●「豊栄市は、住みよいところですか」

この調査の結果は、「住みよい」が二〇・五%で、「どちらかといえば住みよい」が五八・八%でした。これに対して「どちらかといえば住みにくい」が一八・二%、「住みにくい」が二・五%でした。

この結果、「住みよい」という人の合計が七九・三%で「住みにくい」という人の合計が二〇・七%いることがわかりました。

また、この調査で、「住みよさ」、「住みにくさ」の理由を幾つか選んでもらったところ、多いものから五位までは次のとおりでした。

「住みよさ」の原因

(1)公害が少ない＝二〇一人 (2)自然環境に恵まれている＝一六一人 (3)野菜・果物が新鮮で水もおいしい＝一四九人 (4)買物など日常活動に便利＝一一七人 (5)通勤・通学に便利＝一一三人

「住みにくさ」の原因

(1)通勤・通学に不便＝五六人 (2)買物など日常活動に不便＝三九人 (3)よい働き場所が少ない＝三六人 (4)病院や医療機関の不備＝三一人 (5)物価が高い＝一九人

「住みよさ」の理由で一位となった「公害が少ない」については、逆に多くなったという人が九人ありました。

二位の「自然環境に恵まれている」に対しては、自然がなくなりつつあるという人が十四人 りました。

三位の「野菜・果物が新鮮で水もおいしい」に対しては野菜・果物・魚など新鮮なものが入りにくいという人が十一人ありました。

四位の「買物など日常活動に便利」に対しては、反対に「住みにくさ」の理由では、これを不便だとしたのが二位となっているのが注目されます。また、「住みよさ」の理由で五位となっている「通勤・通学に便利」が、「住みにくさ」の理由では一位になっています。この原因は、市街地へ通じるバス路線の不備などによるものと考えられます。

「住みにくさ」の理由として三位となった「よい働き場所が少ない」については、三十六人があげています。このうち二十三人が女性で、女性向きの事業所が少ないことがうかがわれます。

●「将来も今のところに住みますか」

この調査では、次のような結果になりました。

(1)今のところに一生住みたい＝四四・二%、(2)今は満足しているので移る気はない＝二六・九%、(3)移りたいが事情があって移れない＝一一・一%、(4)市内によいところがあれば移りたい＝四・五%、(5)他の市町村へ移りたい＝四・五%、(6)よいところがあればどこでも移りたい＝八・八%

この調査から、(1)、(2)、(4)を合計して、市内に永住したい人は七五・六%で、他市町村へ移りたい人が四・五%となりました。

●「豊栄市をどんな都市に発展させたいと考えますか」

この調査の結果は、次のようになりました。

(1)自然や田園風景に富んだ都市（農業都市）＝三一・八%、(2)環境が整備された住宅中心の都市（住宅都市）＝二九・九%、(3)文化施設や教育機関が整備された都市（文教都市）＝一五・七%、(4)流通機能が整備され、消費生活に便利な都市（産業都市）＝一三・二%、(5)工業が盛んな都市（工業都市）＝五・六%、(6)その他＝二・八%

この調査では、男女とも将来希望する都市の形態は、ほぼ同じ傾向でした。

●「豊栄市を住みよく豊かにするには、第一に何をすべきだと思いますか」

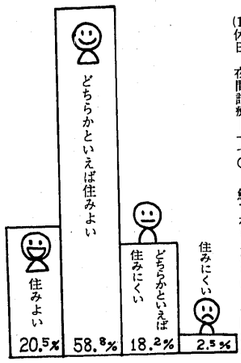
要望の多いものから五位までは、次のとおりでした。

(1)上水道、下水道、保健衛生など生活環境を整備する＝二一・四%

(2)学校教育や社会教育・文化活動等を推進して人格の形成や人と人とのふれあいを高める。＝二一・四%

(3)就業機会を多くして、人口の増加と所得の向上が望めるように各種産業の振興をはかる。＝一七・一%

(4)住民の生活領域の拡大と産業の効率的展開をはかるために、交通機関の充実＝九・四%



アンケートの概要

◎調査は、選挙人名簿から七百人を無作為抽出して実施しました。

◎回答を寄せた人は、男百九十四人、女二百七人で、回収率は五七・二%でした。

◎回答を寄せた人の職業別人数は、次のとおりでした。

●農業の自営八〇人 ●商業・サービス業の自営三二人 ●工業の自営四人 ●技術系の勤め人四四人 ●事務系の勤め人三一人 ●工員・店員など五五人 ●自由業一八人 ●公務員四三人 ●その他九三人

◎他市町村から転入して、まだ日の浅い人の回答率が、割り合い高かったため、調査の結果に、その影響が表われたものもあるようです。

55年度の転作目標面積

豊栄市の五十五年度水田転作目標面積などについて、先ほど県から通知がありました。

市では、これまでどおりの集団転作に、新しく互助制度を組み入れた転作を検討中ですが、農家のご協力をお願いします。

転作の概要は、次のとおりです。

●転作目標面積

四二三・一ヘクタール（耕作面積の一〇・八パーセント）

●買上限度数量

うるち　二六四、四二九袋
もち　八、九六二袋
計　二七三、三九一袋
（前年比九八・二パーセント）

なお、転作目標面積は、県平均で前年の六八・二九パーセント増ですが、豊栄市は五六・五三パーセントの増加でした。

市では昭和五十一年度から市税の口座振替納付制度をとり入れました。年々この制度を利用する人が増加し、現在では五、四八三世帯がこの方法で市税を納めています。

この方法は、皆さんの預金口座から納期ごとに振替えますので、現金を持ち歩く必要もなく安全で便利です。ぜひ"振替納税制度"をご利用ください。

市税の納付は
便利な振替納税で

◎取り扱い市税の範囲

個人の市民税・県民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税

◎取り扱い金融機関名

第四銀行、新発田信用金庫、太陽信用組合の各豊栄支店と北越銀行豊栄支店、早通支店、市内の各農業協同組合

◎振替納税の申込み手続き

「預金口座振替納付依頼書」に住所、氏名、口座番号、口座名義人の氏名を記入し預金口座に使用している印章を押印して金融機関の窓口へ提出してください。用紙は金融機関の窓口に用意してあります。

◎市税の納付計画

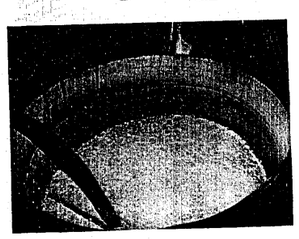
固定資産税・都市計画税、軽自動車税（全期分）は五月、市民税・県民税は六月、国民健康保険税については五月（仮算定）、九月（本算定）のいずれも中旬ころそれぞれ「納期」

「納期ごとの納付額」などをお知らせします。それにもとづいて納付計画をたて指定口座へ預金してください。

「振替納税制度」についてのお問い合わせは税務課税収係七＝三四〇一内線二四〇へどうぞ。

新酒の仕込み まっ盛り

▶ 仕込みは、とにかく温度が左右します。"それっ走れ"



▲ 甘ずっぱいにおいが蔵に充満します。

年末のあわただしい中、市の消費者協会が、市内の○酒造を見学しました。来月の中旬ころまで、新酒の仕込みが続きます。

▲ 2月の中旬までには店頭に出まわるのも

新酒の仕込みも終り、もうすぐです。

▲ 湯気がモウモウし、殺気さえみなぎります。